

■ 会社情報／株式情報

会社概要（2021年8月末時点）

商号	株式会社SHIFT
代表者	代表取締役社長 丹下大
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL:03-6809-1165
設立	2005年9月
資本金	1,160万円
事業内容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置およびプログラム 他7件

役員（2021年11月26日現在）

代表取締役社長	丹下大
取締役副社長	佐々木道夫
取締役	小林元也
取締役	服部太一
取締役	村上誠典
取締役	元谷英美子
取締役監査等委員	新井優介
取締役監査等委員	中垣徹二郎
取締役監査等委員	知識賢治

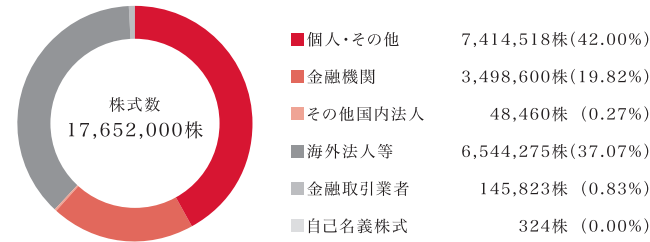
（注）村上誠典、元谷英美子、新井優介、中垣徹二郎及び知識賢治は、社外取締役であります。

株式の状況（2021年8月末時点）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	17,652,000株
株主数	3,556名
上位10名の株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下大	5,781,800	32.75
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,682,469	9.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,252,500	7.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	653,000	3.69
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	612,280	3.46
MSIP CLIENT SECURITIES	374,486	2.12
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON TREATY ACCOUNT 15.315 PCT	335,000	1.89
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	236,500	1.33
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FOUNDS	207,853	1.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505303	196,000	1.11

株式分布の状況



「社会課題を解決する企業」を目指して。

SHIFTは事業成長で、社会課題の解決に向かう変化を生みつつける。

ここがポイント！

- ・コロナ禍においても大幅な成長を実現！
- ・「SHIFT1000」の達成に向け、着実に進捗
- ・新規に8社のグループ会社が参画。より一層のグループ体制を強化
- ・さらなる成長実現に向けてガバナンス体制を強化。
- ・CFOに服部、社外取締役監査等委員に新井氏就任

一企業の単なる事業拡大ではなく、SHIFTの成長が社会課題の解決につながる。そんな経営を念頭に、着実な一歩を進めています。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、感染拡大の収束にご尽力されている皆様に、深く感謝申し上げます。
ここに、当社2021年8月期（2020年9月1日～2021年8月31日）のビジネスレポートをお届けいたします。



2021年8月期を振り返って

2021年8月期は、終わりの見えない不透明な社会状況がつづきましたが、新たに8社をSHIFTグループに迎え、①アカウント／営業、②サービス／技術、③人事／採用、④M&A／PMIの4軸より、今後の中長期成長を見据えた事業施策を推進してまいりました。
「SHIFT500」の集大成となる2021年8月期において、

- 展開している全顧客領域における売上拡大
→IT業界におけるシェア拡大と、認知向上
- サービス種類の拡張(前年比+48サービス)
→サービス力、技術力の強化
- 継続的なエンジニア単価の上昇(単体前期末比+11.2万円)
→高難易度プロジェクトへの参画、エンジニアの付加価値向上、給与上昇が続伸
- マイノリティ出資(3件)を通じた各業界への進出
→新たな顧客領域の開拓とブランド力昇華を目指すサービス提供

などは、特に大きな成果であったと考えています。
そして、これまでのさまざまな常識が通じなくなった昨今において、変わらない着実な成長を遂げ、さらなる未来へ向けて事業

基盤をより盤石なものにできたことは、2021年8月期の大きな成果であると自負しております。

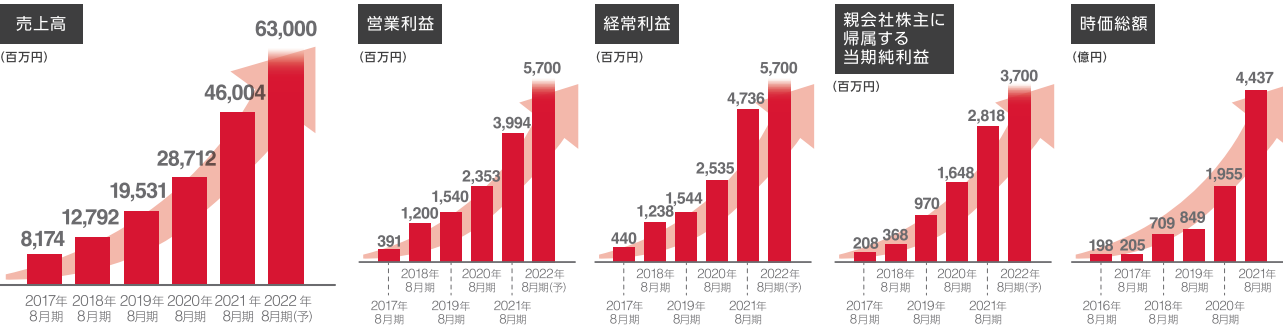
2022年8月期の取り組み

今期、SHIFTは「売れるサービス作りといえど SHIFT」へのブランディングをさらに促進いたします。これまで蓄積してきたソフトウェア品質に関するノウハウ、データをもとに、「不具合のないソフトウェア製品を創る」ことから昇華させ、「お客様の売れるサービスを作る」、つまりはエンドユーザーにより届くマーケティングや、直感的に使いやすいデザイン、経済効率性の高い品質など、ソフトウェア製品／サービスを作る一連の過程において、お客様の真のニーズを実現する新たな「モノづくり」の展開に取り組んでまいります。中期成長戦略「SHIFT1000」達成に向け、営業力拡大・M&A／資本業務提携を通じた、全産業への進出も強く推進してまいります。
また、SHIFTグループは、IT業界、ひいては日本社会において顕在している人材不足や低い労働生産性、IT業界の多重下請け構造といった社会課題の解決にも積極的に取り組んでおります。より多くの業界のお客様に対面し、さらなる事業成長を実現することで、真の「社会課題を解決する企業」を目指してまいります。

代表取締役社長 丹下 大

コロナ禍においても全項目で過去最高を更新！「SHIFT1000」達成に向けて、着実に進捗！

FY2021は日々変化する事業環境下でも、エンジニア数の継続的な増加、事業領域の拡大、提供サービスの拡張によるエンジニア単価のアップを実現し、これらすべてが売上高の上昇に貢献しました。



2021年8月期の振り返り 単：単体 連：連結

単 営業人数 39人 ▼ 50人	単 新規開拓顧客社数 332社 ▼ 365社	単 営業一人当たり年間売上 4.9億円 ▼ 6.5億円	単 年間取引顧客数 775社 ▼ 889社	連 連結エンジニア数 4,322人 ▼ 6,115人
単 応募者数(年間) 22,992人 ▼ 31,626人	単 企業認知度 34.2% ▼ 41.2%	単 特許取得数 4件 ▼ 8件	連 M&A・会社新設数 5社 ▼ 8社	連 グループ会社売上総額 115億円 ▼ 222億円

※SHIFT独自の定期リサーチより

※資本業務提携含まず

2022年8月期の連結業績予想 売上高1,000億円へつづく通過点として、着実な成長を積み重ねてまいります。

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
第2四半期累計	29,000	42.9%	2,400	61.2%	2,400	24.8%	1,500	38.1%
通期	63,000	36.9%	5,700	42.7%	5,700	20.3%	3,700	31.3%

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

SHIFTが解決に向けて 取り組む社会課題

「社会課題を解決する企業」を目指しているSHIFT。その事業活動は、結果としてさまざまな社会課題解決につながると考え、SHIFT自身の事業成長と、社会課題解決を両輪に、さらなる成長にむけて邁進してまいります。

SHIFTの事業成長

売上高
推移

FY2017 FY2018 FY2019 FY2020 FY2021 FY2022

社会課題

増加するIT需要と
増えないIT人材

2030年に79万人
のIT人材が不足

SHIFTの事業活動

非IT人材の
積極登用

テストの素養をはかる
採用試験により、非IT
人材が入社し活躍する
仕組みを確立

直近3年での
他業種からの転職
2,151名
(FY2019～FY2021)

社会課題

低下する日本の一人当たり
GDPと労働生産性

労働生産性 26位/37ヶ国
1970年以降最も低い順位
(公益財団法人 日本生産性本部「労働生産性の国際比較 2020」より引用)

SHIFTの事業活動

「開発」と「テスト」の
分業で効率化

異なるスキルの仕事だからこそ分業化



社会課題

エンジニアを苦しめる
多重下請け構造

☑ 優秀なエンジニアが報われない
ため、人材がIT業界から流出。
さらに、新たな人材が増えづらい

SHIFTの事業活動

エンジニアを実力で
適正評価

エンジニアを実力で
適切に評価し、報酬
を付与。スキルUP
の機会も提供

年間平均昇給率
10.4%
(IT業界平均:3.2%)

社会課題

迫りくる
サイバー攻撃

年間で観測されたサイバー攻撃回数
3,297億パケット
(総務省「サイバー攻撃の最近の動向等について」より引用、2019年度実績)

SHIFTの事業活動

枯渇する
セキュリティ人材を創出

セキュリティ
エンジニア数推移

168人
FY2018 FY2019 FY2020 FY2021

SHIFT
SECURITY

社会課題

広がる
地方格差

- ☑ 雇用の首都圏集中
- ☑ 地方の経済力の低下
- ☑ 若者の流出

SHIFTの事業活動

地方(高知県)で
雇用を創出

高知県雇用創出数 SHIFT PLUS+ X BUNTAN
設立時従業員数 2021年8月末従業員数
40人 ▶ 188人 平均年齢 32歳

社会課題

地球規模で日々進行する
気候変動課題

2000年からの20年間で
気候変動による災害
82%増加 (参考:JICA)

SHIFTの事業活動

CO2排出量削減
へ取り組み

株式会社SNC
中古PCリユース
事業における
年間CO2削減量 (排出権取引換算:2,400万円相当)
4,162t

M&Aを通じた
事業承継問題の
解決

NPO法人との連携
による社会貢献領域
の拡大

定年制度の延長
により、生涯年収
の向上

障がい者雇用で
「やりがい」のある
仕事の創出

DX支援

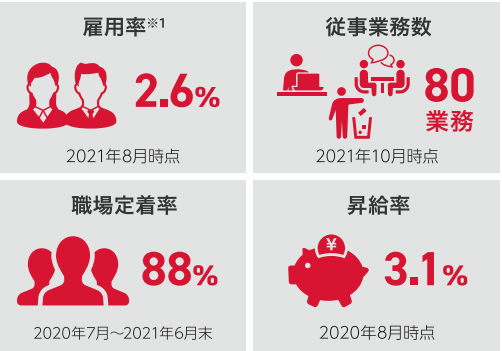
一人一人の個性を大切に。SHIFTの障がい者雇用

▶SHIFTの高成長を実現する、SHIFTの障がい者雇用

SHIFTでは、障がいの有無にかかわらず、誰もが誇りとやりがいをもって活躍できるような環境づくりを目指し、障がいをもつ従業員を対象とした、特別部署「ビジネスサポートグループ」を設立しています。

ビジネスサポートグループに所属している従業員は、事務業務や福利厚生の一環として従業員に提供しているマッサージルームの運営、テストエンジニア、動画クリエイター、ライターなど80もの業務に従事し、自らが「得意」なことを通じて、会社と社会に貢献しています。

結果として、SHIFTにおける障がい者の職場定着率は88%におよび、業務に対する評価、昇給の仕組みも年々拡充してまいりました。



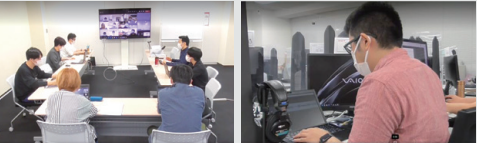
▶メンバーの得意領域と、分解された業務をマッチング

ビジネスサポートグループがサポートをする業務数は、28部門80種類にもおよびます。これは、SHIFTが得意とする業務分解により、幅広い業務の分解、仕組化されてきた結果であり、業務未経験者であっても担当できるようになりました。

加えて、ビジネスサポートグループに所属するメンバーが、SHIFTで浸透している「仕事を楽しむ」「困難にこそチャレンジし、乗り越える」といった前向きにものごとを捉える社風を理解し、未経験の業務にも積極的にチャレンジ。業務を自分のものとして習熟するようになりました。

ビジネスサポートグループの担当する業務の幅は日々拡大しています。

サポートする業務数 **28部門 80種類**



▶アートをビジネスに取り入れる！SHIFT Challenged Art 公募展2021

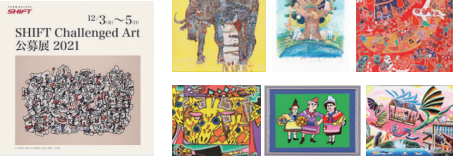
アートに対して素晴らしい感性と才能を備える障がい者アーティストを対象とした公募展「SHIFT Challenged Art 公募展2021」。参加アーティストたちが生み出す作品の魅力とそれに込められたメッセージを広く発信し、あらゆる多様性を認め合うことで、すべての人が才能や能力を発揮できる社会を創造することが、本公募展の目的です。

SHIFTでも、ビジネスサポートグループにおける新たな職種として「アート」を増設いたしました。そのため、本公募展では、アート職で活躍いただけるメンバーの採用活動も同時に実施しております。採用されたメンバーには、柔軟でクリエイティブな発想を、アートを通じてSHIFTに浸透させていただくことを期待しています。

なお、2021年10月末時点において596点のご応募をいただきました。

SHIFT Challenged Art 公募展2021

596点の応募
2021年10月末時点



さらに成長スピードを加速させるSHIFTグループ

FY2022より、新たな取締役兼CFOとして服部 太一、社外取締役 監査等委員として新井 優介氏を迎えることとなりました。

SHIFTのさらなる企業価値向上に向け、成長加速を支え、そしてけん引するようなガバナンス体制を構築してまいります。



取締役兼CFO
服部 太一
2021年11年就任

前職のリクルートホールディングスでは、Indeedの買収から、買収後の成長まで一連の過程を経験し、財務責任者として成長にコミットしてまいりました。SHIFTの今の高成長は、Indeedで私が経験してきたものと多くの共通点があると感じます。私のこれまでの経験を糧に、SHIFTの健全な成長を支える財務体制構築に尽力できればと考えています。

プロフィール

関西大学法学部卒業。1998年に日本電信電話株式会社(後、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社に分社化)に入社し、システムエンジニアを経験した後、国際電話事業の立ち上げ、海外アライアンス戦略などに従事。2006年リクルートホールディングス株式会社に入社し、海外事業開発、投資戦略、事業統括など幅広く携わる。リクルート社にてIndeed Inc.のM&Aプロジェクトをリード後、2012年よりIndeedへ出向。米国現地本社にてバイスプレジデント、シニアバイスプレジデント、CFOを歴任。リクルート帰任を経て、2021年7月より執行役員兼CFOとしてSHIFTに参画。経営管理領域を中心に管掌している。



社外取締役 監査等委員
新井 優介
2021年11年就任

私は、上場企業の経理経験を経て公認会計士の資格を取得後、監査法人に入所し多くの企業の会計監査及び税務業務に携わりながら、専門的な知識の研鑽に取り組んでまいりました。財務諸表の数字の裏側にはリアルな企業の営みがあります。これまで培った知見は、企業価値の向上及び透明性の高い経営の実現に資するものであると考えています。

プロフィール

公認会計士及び税理士。有限会社辰巳商事、サンコーテクノ株式会社にて勤務後、15年以上の間、監査法人にてIT関連業界や製造業界、建設業界など、幅広い業界の監査業務に従事。IPO支援や内部統制構築支援などにおける高い専門性を有する。2021年11月よりSHIFTの社外取締役監査等委員として就任。



社外取締役
村上 誠典
2020年11年就任



社外取締役
元谷 芙美子
2020年11年就任



社外取締役 監査等委員
中垣 徹二郎
2014年11年就任



社外取締役 監査等委員
知識 賢治
2018年11年就任